



していたが、今年度は台風の多発により中止している。

【予定していた訓練内容】合同指揮所会議，被害状況等収集・伝達訓練（ヘリ），災害情報収集・伝達訓練，道路啓開訓練，市民初期消火訓練，孤立住民空路輸送訓練，災害ボランティアセンター設置・運営訓練，炊き出し訓練，水防工法訓練，応急給水訓練，緊急物資海路輸送訓練，緊急物資輸送訓練，血液緊急輸送訓練，避難施設用仮設分電盤通電訓練，電力供給支障事故復旧訓練，ガス供給施設復旧工事訓練，津波漂流者捜索救助訓練，現地救護所開設訓練，トリアージ訓練，応急医療処置訓練，倒壊家屋救出訓練，閉鎖車両救助訓練，応急医療措置訓練，負傷者搬送訓練，交通事故救助訓練，流出油事故対策訓練



写 - 1 平成27年度釧路市防災総合訓練

#### 4.2. 白糠町防災訓練

平成22年より地区ごとに津波避難訓練を実施。平成26年の広島市・礼文島土砂災害を受け，平成27年度より土砂災害避難訓練を実施。警察，消防，消防団等参加。

【訓練想定】台風の接近により局所的大雨による土砂災害のおそれ，恋問川の氾濫。

【訓練内容】情報伝達訓練，住民避難訓練，避難所開設訓練，避難住民輸送訓練，救助救命訓練，心配蘇生訓練，ライフライン応急対応訓練，避難者名簿作成訓練，安否確認訓練



写 - 2 白糠町 心肺蘇生訓練

#### 4.3. 釧路町防災訓練

平成9年より地区ごとに想定した災害に沿って訓練を実施。今年度は津波被害を受けない地区であり，土砂災害を想定。自衛隊，警察，消防，日本赤十字，漁協，北海道開発局等参加。

【訓練想定】台風の接近による低気圧，局所的大雨土砂災害警戒情報（レベル4）の山地洪水等の発生が予想。避難準備情報，避難指示を発令。

【訓練内容】情報伝達訓練，住民避難訓練，避難住民輸送訓練，初期消火訓練，心肺蘇生訓練，煙体験訓練，航空偵察訓練，地上偵察訓練，倒壊建物救出・救助訓練，応急処置訓練，住民土のう作成・積み訓練，炊き出し訓練，応急給水訓練，支援物資輸送訓練，災害対策用機械設置訓練



写 - 3 釧路町 住民土のう作成・積み訓練

#### 4.4. 厚岸町総合防災避難訓練

釧路沖地震・東方沖地震を受け，平成7年より総合防災避難訓練を実施。自衛隊，海上保安庁，警察，消防等参加。

【訓練想定】日本海・千島海溝周辺海溝型地震 M9.1の地震発生 羅臼町震度7 大津波警報発令，避難指示発令（約3500世帯 約8200人）

【訓練内容】津波襲来から24時間経過（ライフライン途絶）後，2次避難所開設・運営，避難所運営本部会議，給水訓練，避難所運営訓練，救援物資輸送訓練，避難者輸送訓練，炊き出し訓練，医療従事者移送訓練，孤立避難者救出訓練，避難者受入訓練，救護訓練，要配慮者対応訓練，避難者診察訓練，災害装備品展示



写 - 4 厚岸町 避難所設営訓練

#### 4.5. 浜中町津波防災避難訓練

チリ沖地震30年後の平成2年より津波防災避難訓練を実施。町内には、水門4箇所、陸閘5箇所あり、遠隔操作で開閉。

【訓練想定】 AM6:30 地震発生 大津波警報発表，災害対策本部設置，避難指示発令，エリアメール配信

【訓練内容】住民避難訓練，水門・陸閘・樋管の閉鎖訓練，情報伝達訓練，避難参加者への健康チェック，要支援者の仮想避難訓練



写 - 5 浜中町 水門遠隔操作訓練

#### 4.6. 根室市総合防災訓練

自衛隊，海上保安部，警察，消防，気象台，森林管理局，北海道，北海道開発局等参加

【訓練想定】根室半島南東沖 M8 超の巨大地震発生 最大震度 6 弱 道路，各公共施設損壊及び家屋半壊，ライフライン途絶 大津波警報発令，避難指示発令

【訓練内容】災害対策本部構築訓練，緊急出航訓練，情報伝達訓練，津波対策訓練，パトロール訓練，緊急物資海路輸送訓練，避難誘導・広報訓練，避難訓練，巡視船住民避難訓練，避難行動要支援者搬送訓練，倒壊家屋救出救助訓練，通信訓練，消防訓練，海面漂流者搜索・救助訓練，潜水搜索訓練，車両事故救出救助訓練



写 - 6 根室市 潜水搜索訓練

#### 4.7. 別海町防災訓練

毎年自主防災組織ごとに、地震・津波を想定した訓練を実施。平成28年度からはノーザンレスキュー訓練と同様の訓練を自衛隊の協力の下実施。

【訓練想定】 10:00 震度5強の地震発生 大津波警報発令，避難指示発令

【訓練内容】災害対策本部設置訓練，住民避難訓練，自衛隊住民救助訓練，火災消火訓練，自衛隊孤立住宅救助訓練，給食訓練



写 - 7 別海町 自衛隊住民救助訓練

#### 4.8. 標津町防災訓練

北海道東方沖地震，釧路沖地震をきっかけに平成7年より，地震・津波や暴風雪を想定した訓練を実施。

平成26年度10回近い暴風雪に見舞われたことをきっかけに平成27年度より暴風雪に関する避難訓練も実施。

【訓練想定】発達した低気圧により、湿った重い雪が大量に降り、その後暴風雪。主要道路が全て通行止め、停電が長時間継続、大雪により住宅から脱出できない住民からの救助要請が同時多発的に発生。

【訓練内容】災害対策本部用資器材設置訓練、自衛隊への災害派遣手順確認、情報伝達訓練、緊急車両通行訓練、除雪・救出救助訓練、避難所設置訓練、停電及び無暖房状況下での避難体験、防災講演会の実施



写 - 8 標津町 防災講演会

#### 4.9. 羅臼町防災訓練

平成12年より津波防災避難訓練を実施。町内には、防災行政無線個別受信機を配備。

【訓練想定】北海道根室東方沖でM9.0の地震発生 羅臼町震度6弱 大津波警報発令、避難指示発令

【訓練内容】町民一斉避難訓練、防災行政無線個別受信機の作動確認、自主防災組織・福祉関連施設による災害時避難行動要支援者の避難協力等訓練、職員参集訓練、職員実務訓練、情報伝達訓練、教育機関・金融機関・漁協・商工会等避難訓練、シェイクアウト訓練、負傷者搬送受け入れ訓練



写 - 9 羅臼町 津波避難訓練

#### 5. 防災訓練の特徴

自治体と住民以外の参加者は、主に自衛隊、消防、警察、日本赤十字であるが、中には地元企業も参加している訓練もあった。

##### 5.1 住民避難訓練

自主避難の他、自衛隊による住民の輸送訓練が多く見受けられた。

避難想定については、「地震発生直後」が多かったが、「高台への避難後の2次避難」、「地震発生の2日後」と避難が長期化することも視野に入れたものや、地震発生時刻を早朝とした自治体もあった。

また、避難受け入れ側の訓練として、視力障害・聴力障害・半身不随・出産直後の女性・痴呆症等の非健常者が避難してくるといった想定で実施したのもあった。

##### 5.2 住民参加型実地訓練

避難以外の住民参加型の実地訓練としては、避難所開設訓練、心配蘇生訓練、土のう製作・設置訓練、給水訓練、給食訓練。

#### 6. 防災訓練に関する意見

訓練実施後、参加した住民から出た意見は以下のものがあつた。

避難を車で行うことが困難な場合がある。

車で避難したが道路が渋滞した。

指定避難場所が学校となっているが、夜間や休日には入れないのではないか。

避難所受付が混雑していた。

外国人対応が不十分。

避難所がバリアフリーになっていない。

避難所で必要な物資のあり場所が分からなかった。

時間を指定しない訓練もやるべきでは。

高齢者対応の訓練を充実すべき。

参加者が少ない。

防寒対策も考慮すべき。

冬場の訓練も実施すべき。

訓練の進行状況がよく分からなかった。

『今何をやっているの?』

近年出水被害を受けていたため、訓練への参加者が非常に多く、住民の防災に対する意識が高いことが分かった。

## 7. 今年度の大雨対応（避難勧告）に関する意見

8月末の台風と前線通過に伴う降雨で、実際に避難勧告を行った自治体があった。その時の対応について自己検証している。主な意見は以下のとおり。

避難勧告発令タイミングについて、当初は過剰な判断と思ったが後で各地の被災状況を知り早めの適切な判断であった。

避難勧告について、準備情報 勧告 指示の違いを明確にして住民に浸透させるべき。

また、住民が危機感を持つように表現すべき。

要援護者の避難に当たって、車いす対応の車両の必要性を感じた。

避難所において、人工肛門の人が、装具交換しやすい環境づくりが必要。

避難所に下足用ビニール袋、ポット等が必要。

避難者に情報提供が足りなく、テレビも無かった。

道路が冠水したが、通行止め等の対応が遅かった。

通行止め等のバリケードが不足。

役場職員各自の所掌事項を熟知していなかった。

対策本部と各所の情報伝達が不十分。

## 8. まとめ

釧根地区は、チリ沖地震、釧路沖地震、東方沖地震、十勝沖地震、東日本大震災等を教訓に、その地区の特性に合った被災想定、避難訓練を毎年工夫しながら実施し、地域の防災力向上に努めている。

平成29年6月 釧路川総合水防演習・広域連携防災訓練の実施が予定されており、釧根地区全市町村の参加を見込んでいる。紹介した防災訓練の実施状況は、上記水防演習会場で企画展示のひとつとする予定である。

本報告や釧路川総合水防演習・広域連携防災訓練で、釧根地区の自治体が他の防災訓練を知り、今後の防災訓練をより良いものに発展させていくことを期待する。

### < 釧路川総合水防演習・広域連携防災訓練 >

【主催】 標茶町、釧路市、釧路町、厚岸町、浜中町、弟子屈町、鶴居村、白糠町、根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町、北海道、北海道開発局

【協賛】 全国水防管理団体連合会、日本河川協会

【協力】 陸上自衛隊第5旅団第27普通科連隊、釧路地方気象台、北海道警察本部、北海道警察釧路方面本部、弟子屈警察署、釧路管内赤十字奉仕団、釧路北部消防事務組合消防本部、釧路市消防本部、釧路東部消防組合消防本部、白糠消防団、根室市消防本部、根室北部消防事務組合消防本部、標茶町教育委員会、釧路建設業協会、建設コンサルタンツ協会北海道支部、他

【参加機関】 寒地土木研究所、防災エキスパート、他